

【4】教員の勤務上の課題について

調査項目

0. 学校番号（別紙参照）を記入してください。

1. 児童・生徒指導－「いじめ」について

R4 年度に貴学校園で発生した、「いじめ」について以下の設問にご回答ください。データの取り扱いには慎重を期し、公になるのは統計的に処理した結果に限られますので、趣旨をご理解の上ご協力ください。

1-1. いじめの認知件数に付いて、①-⑤から選んでください。

①0 ②1～10 ③11～30 ④31～70 ⑤71 以上

1-2. 警察に通報・相談した件数を、①-④から選んでください。

①0 ②1～3 ③4～9 ④10 以上

1-3. いじめの実態把握のためのアンケート等の実施回数を、①-④から選んでください。

①行っていない ②年 1 回 ③年 2～3 回 ④年 4 回以上

1-4. いじめ防止対策推進法第 28 条第 1 項が規定する「重大事態」の件数を、①-④から選んでください。

①0 ②1～2 ③3～5 ④6 以上

2. 行事や課外活動対応

2-1. 学校行事の実施について、当てはまるものを選んでください。選択肢にない主な行事で、コロナ禍前よりも規模の縮小や削減を行ったものがあれば「その他」に記してください。（複数選択可）

- ①運動会／体育祭は平日開催
- ②運動会／体育祭は半日で実施
- ③運動会／体育祭は隔年開催
- ④運動会／体育祭の規模はコロナ禍前とほぼ変更なし
- ⑤文化祭（及び相当する発表会等）は平日開催
- ⑥文化祭（同）は半日で実施
- ⑦文化祭（同）は隔年開催
- ⑧文化祭（同）の規模はコロナ禍前とほぼ変更なし
- ⑨遠足等の学外引率行事の回数や規模を縮小
- ⑩その他（ ）

2-2. 部活動改革について取り入れているものを選んでください。一部の部活での先行実施でも構いません。（複数選択可）

- ①外部指導者（部活指導員ではない）の任用
- ②部活動指導員の任用
- ③スポーツクラブとの連携（活動推奨含む）
- ④学生ボランティアの活用
- ⑤中体連等の大会参加取りやめ
- ⑥休日の活動時間削減（活動中止も含む）
- ⑦一部の部活動廃止
- ⑧その他（ ）

2-3. 部活動改革について取り入れたいと考えているものを選んでください。（複数選択可）

- ①外部指導者（部活指導員ではない）の任用
- ②部活動指導員の任用
- ③スポーツクラブとの連携

- ④学生ボランティアの活用
- ⑤中体連等の大会参加取りやめ
- ⑥休日の活動時間削減（活動中止も含む）
- ⑦一部の部活動廃止
- ⑧全部活動の廃止
- ⑨その他（ ）

2-4. 学校として将来的に、部活動はどのように位置付ければよいとお考えでしょうか。

- ①学校とは切り離れた活動にする
- ②場所は提供するが活動には関わらない
- ③教員の希望があれば学校での活動を認め、練習時間や大会参加は教員の裁量に委ねる
- ④現在の形から、教員の勤務時間を考慮し活動時間を短縮した上で継続
- ⑤現状のままでよい
- ⑥その他（ ）

概要

勤務上の課題として、本調査では、「いじめ」と「行事」、「課外活動」の対応について取り上げた。従来の調査で取り上げられていた「教育実習対応」については、委員会で対応マニュアルを作成して周知し、意見をいただきブラッシュアップすることとした。

「いじめ」については、幼稚園は「いじめ防止対策推進法」の「学校」に含まれないため、ほぼ0回答であった。特別支援学校も実態把握調査は他校種同様の熱意で取り組んでいるが、発生件数等は少ない。法的な環境も含めた、実態に沿った調査項目の見直しを進めたい。

それ以外の校種では、小学校、中学校を中心として、「重大事態」や警察が関わる案件があるが、何れも1~2回もしくは1~3回で収まっていた。多くの学校ではいじめの実態把握のためのアンケート等を、年に複数回実施するなど、いじめ防止に学校を挙げて取り組んでいた

学校行事は縮小傾向であるが、運動会/体育祭と文化祭の廃止はなく、音楽祭（合唱祭）や校外学習（遠足）の見直しによって取組時間数を削減する等の工夫を行っている。ただ、運動会/体育祭について、幼稚園や小学校ではコロナ禍で実施していた半日開催の形態を踏襲され、中学校では平日開催が目立つ。

部活動改革は、外部指導員の任用、部活動指導員の任用、休日の活動時間削減（活動中止含む）が多いが、運営を業者に委託したり、生徒やPTA主体で運営する形を取ったりする学校もある。今後取り入れたいと思っていることとしては、そのようなことに加え、学生ボランティアの活用、中体連等の大会参加取りやめ、拠点校方式による指導体制、廃止（一部/全部）があがった。部活動の将来的な位置付けとしては、「学校とは切り離れた活動にする」「場所は提供するが活動には関わらない」「活動時間を短縮して継続」「教員の希望があれば学校での活動を認めて練習時間や大会参加は教員裁量にする」が代表的な回答であった。

令和5年度全附連調査委員会実態調査報告

【4】教員の勤務上の課題について

1. 児童・生徒指導-「いじめ」について

R4 年度に貴学校園で発生した、「いじめ」について以下の設問にご回答ください。データの取り扱いには慎重を期し、公になるのは統計的に処理した結果に限られますので、趣旨をご理解の上ご協力ください。

1-1. いじめの認知件数に付いて、①-⑤から選んでください。 ①0 ②1~10 ③11~30 ④31~70 ⑤71 以上
1-2. 警察に通報・相談した件数を、①-④から選んでください。 ①0 ②1~3 ③4~9 ④10 以上
1-3. いじめの実態把握のためのアンケート等の実施回数を、①-④から選んでください。 ①行っていない ②年1回 ③年2~3回 ④年4回以上
1-4. いじめ防止対策推進法第28条第1項が規定する「重大事態」の件数を、①~④から選んでください。 ①0 ②1~2 ③3~5 ④6 以上

1-1. いじめの認知件数

	全体(187)	幼(39)	小(48)	中(53)	特支(28)	高, 中等, 義務(19)
①0	65	35	2	5	18	5
②1~10	81	4	19	37	9	12
③11~30	20	0	9	10	1	0
④31~70	8	0	6	1	0	1
⑤71 以上	13	0	12	0	0	1

1-2. 警察に通報・相談した件数

	全体(187)	幼(39)	小(48)	中(53)	特支(28)	高, 中等, 義務(19)
①0	175	39	41	48	28	19
②1~3	12	0	7	5	0	0
③4~9	0	0	0	0	0	0
④10 以上	0	0	0	0	0	0

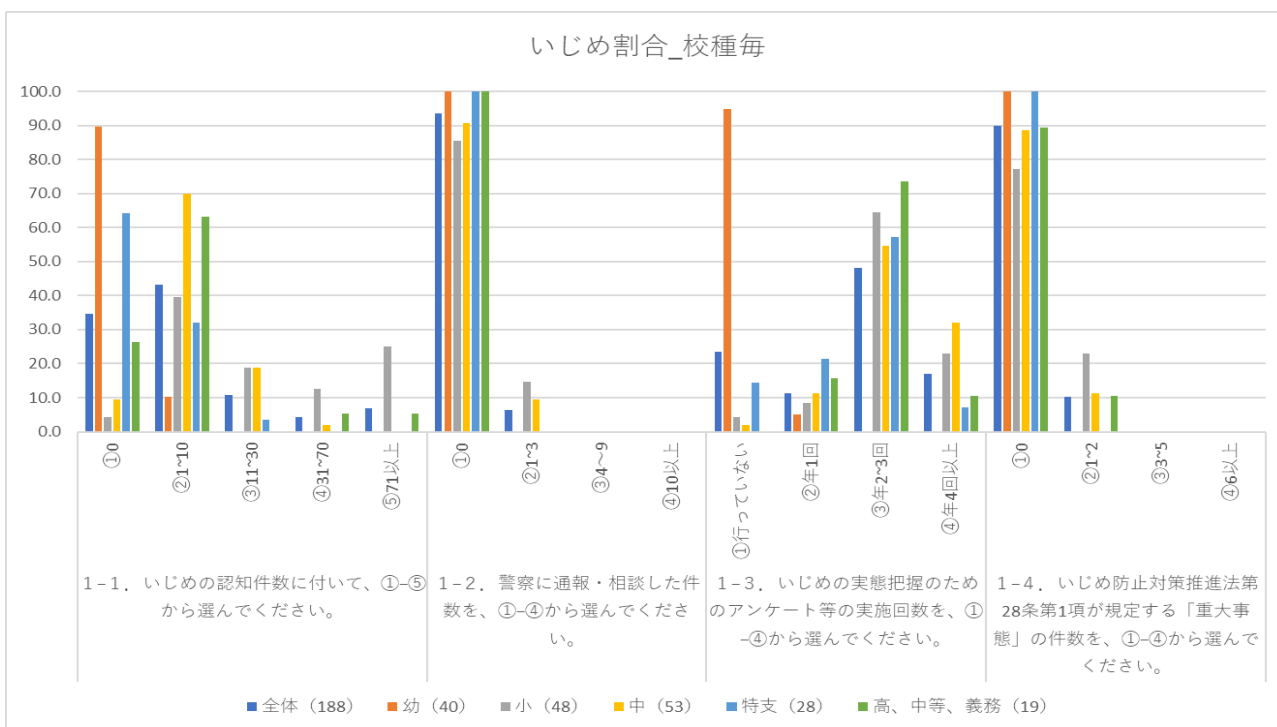
1-3. いじめの実態把握のためのアンケート等の実施回数

	全体(187)	幼(39)	小(48)	中(53)	特支(28)	高, 中等, 義務(19)
①行っていない	44	37	2	1	4	0
②年1回	21	2	4	6	6	3
③年2~3回	90	0	31	29	16	14
④年4回以上	32	0	11	17	2	2

1-4. いじめの「重大事態」の件数

	全体(187)	幼(39)	小(48)	中(53)	特支(28)	高, 中等, 義務(19)
①0	168	39	37	47	28	17
②1~2	19	0	11	6	0	2
③3~5	0	0	0	0	0	0

④6以上	0	0	0	0	0	0
------	---	---	---	---	---	---



【分析】

- ・いじめの認知件数について、認知件数が0件は全体では約35%である。幼稚園、特別支援学校で認知件数が少ない傾向がある。
- ・警察に通報・相談したケースは、小学校、中学校でのみ見受けられる。
- ・いじめの実態把握のためのアンケート等の実施回数は、年2～3回実施している学校園が多く（半数近い）、いじめ防止のための対策を講じている学校園は多いと思われる。
- ・「重大事態」は、幼稚園、特別支援学校以外で発生しており、児童生徒の多様化、家庭の複雑化等を伺うことができる。いじめ対応が多くの時間を費やすことにつながり、教員の勤務時間超過の要因にもなっていると思われる。関係諸機関との連携、効果的な予防策等が必要であると考えられる。

2. 「行事や課外活動対応」について

- 2-1. 学校行事の実施について、当てはまるものを選んでください。選択肢にない主な行事で、コロナ禍前よりも規模の縮小や削減を行ったものがあれば「その他」に記してください。（複数選択可）
- ①運動会／体育祭は平日開催 ②運動会／体育祭は半日で実施 ③運動会／体育祭は隔年開催
 ④運動会／体育祭の規模はコロナ禍前とほぼ変更なし ⑤文化祭（及び相当する発表会等）は平日開催 ⑥文化祭（同）は半日で実施 ⑦文化祭（同）は隔年開催 ⑧文化祭（同）の規模はコロナ禍前とほぼ変更なし ⑨遠足等の学外引率行事の回数や規模を縮小 ⑩その他（ ）

2-1. 学校行事の実施状況

	全体 (187)	幼稚園 (39)	小学校 (48)	中学校 (53)	高等学 校(5)	中等教育 学校(7)	特別支援 学校(28)	義務教育 学校(7)
①運動会/体育祭は平日開催	40	4	4	20	2	3	3	4
②運動会/体育祭は半日で実施	95	25	34	17	1	1	14	3
③運動会/体育祭は隔年開催	1	0	0	0	0	0	1	0
④運動会/体育祭の規模はコロナ禍前とほぼ変更なし	31	6	8	12	1	1	3	0
⑤文化祭（及び相当する発表会等）は平日開催	0	0	0	0	0	0	0	0
⑥文化祭（同）は半日で実施	3	0	0	1	1	0	1	0
⑦文化祭（同）は隔年開催	0	0	0	0	0	0	0	0
⑧文化祭（同）の規模はコロナ禍前とほぼ変更なし	6	0	2	1	0	2	1	0
⑨遠足等の学外引率行事の回数や規模を縮小	0	0	0	0	0	0	0	0
⑩その他（ ）	21	7	2	8	0	0	4	0

⑩その他の意見

幼稚園： 運動会の内容を精選した結果、縮小に繋がった/運動会は学年ごとの開催/園庭で行っていた運動会を、コロナ禍から小学校の校庭を借りて実施/宿泊保育/運動会はもともと半日でしたが、学年によって日程を分ける（年少は参観として1回、年中・長で半日1回）/交通安全教室やお楽しみ会（人形劇等）の保護者の参加を無しにし、園児だけの参加にしました/子どもと保育者の負担軽減を目的として、行事は内容を見直した/お泊り保育をデイキャンプへ、保護者の保育参加回数減、家庭訪問を園で面談へなど

小学校： 運動会の練習時間も大幅削減した/学習発表会の時間はコロナ前と同様であるが、内容及び準備の時数は大幅削減した/人数制限するために、1日を2日にした

中学校： 音楽祭/運動会・芸術発表会の内容は少し見直し終了時間は早くした/合唱祭（規模の縮小）/運動会や文化祭は規模を縮小して実施/文化祭にあたる学習発表会を廃止した/合唱コンクール：各クラス、課題曲と自由曲の2曲だったものを、自由曲の1曲のみに変更/コンクールの時間と、練習の時間が半減/遠足はコロナ前から中止/体育祭はやや縮小

特別支援学校： 運動会、文化祭はコロナ前から開催なし/文化祭等も規模縮小/校外学習の回数削減、修学旅行の近県実施/授業参観を減らした（9月）

【分析】

- ・運動会/体育祭と文化祭は、廃止する学校は見受けられない。他の行事、例えば音楽祭（合唱祭）や校外学習（遠足）を廃止、縮小する、宿泊を一日に縮小する等、行事の見直しによって取組時間数を削減する等の工夫を行っている。
- ・運動会/体育祭について、幼稚園や小学校では、コロナ禍で実施していた半日開催の形態を踏襲する傾向がある。中学校では平日開催が目立つ。
- ・文化祭はコロナ禍以前と同じ形態で実施する傾向が伺える。
- ・全体的に学校行事は縮小の方向である。
- ・行事の回数を（授業参観等）減らす、内容を精選する等で、教職員の負担軽減を図っている学校園が

多い。

2-2. 部活動改革について取り入れているものを選んでください。一部の部活での先行実施でも構いません。(複数選択可)

- ①外部指導者(部活指導員ではない)の任用 ②部活動指導員の任用
- ③スポーツクラブとの連携(活動推奨含む) ④学生ボランティアの活用
- ⑤中体連等の大会参加取りやめ ⑥休日の活動時間削減(活動中止も含む)
- ⑦一部の部活動廃止 ⑧その他()

2-3. 部活動改革について取り入れたいと考えているものを選んでください。(複数選択可)

- ①外部指導者(部活指導員ではない)の任用 ②部活動指導員の任用
- ③スポーツクラブとの連携 ④学生ボランティアの活用 ⑤中体連等の大会参加取りやめ
- ⑥休日の活動時間削減(活動中止も含む) ⑦一部の部活動廃止 ⑧全部活動の廃止
- ⑨その他()

2-4. 学校として将来的に、部活動はどのように位置付ければよいとお考えでしょうか。

- ①学校とは切り離れた活動にする ②場所は提供するが活動には関わらない
- ③教員の希望があれば学校での活動を認め、練習時間や大会参加は教員の裁量に委ねる
- ④現在の形から、教員の勤務時間を考慮し活動時間を短縮した上で継続
- ⑤現状のままでよい ⑥その他()

2-2. 部活動改革について取り入れているもの(複数選択可)

	全体 (187)	幼稚園 (39)	小学校 (48)	中学校 (53)	高等学 校(5)	中等教育 学校(7)	特別支援 学校(28)	義務教育 学校(7)
①外部指導者(部活指導員ではない)の任用	33	0	4	23	0	5	0	1
②部活動指導員の任用	19	0	1	15	2	1	0	0
③スポーツクラブとの連携(活動推奨含む)	3	0	0	1	0	2	0	0
④学生ボランティアの活用	7	0	0	5	0	2	0	0
⑤中体連等の大会参加取りやめ	0	0	0	0	0	0	0	0
⑥休日の活動時間削減(活動中止も含む)	16	0	1	12	0	3	0	0
⑦一部の部活動廃止	9	0	0	9	0	0	0	0
⑧その他	10	0	1	4	1	0	4	0

⑧その他の意見

小学校：年間練習回数の平均化

中学校：中体連以外の大会参加取りやめ/R6より、運動部は運営を業者に委託するクラブ活動に、文化部は生徒主体のサークル活動に移行予定/平日の活動時間の短縮/平日の部活動。一番長くても(夏場)17:15に終了/PTA主体で部活動を運営。

高等学校：下校延長活動の上限設定

特別支援学校：部活動の設定なし/大学のダンス部に部活動支援員として一部指導をいただいている/実施日の削減部活動は以前より実施無し(2)

2-3. 部活動改革について取り入れたいと考えているもの（複数選択可）

	全体 (187)	幼稚園 (39)	小学校 (48)	中学校 (53)	高等学 校(5)	中等教育 学校(7)	特別支援 学校(28)	義務教育 学校(7)
①外部指導者（部活指導員ではない）の任用	21	0	4	13	2	1	1	0
②部活動指導員の任用	7	0	2	3	1	1	0	0
③スポーツクラブとの連携	8	0	0	6	1	1	0	0
④学生ボランティアの活用	7	0	0	6	0	1	0	0
⑤中体連等の大会参加取りやめ	6	0	0	4	0	2	0	0
⑥休日の活動時間削減（活動中止も含む）	20	0	3	13	2	1	1	0
⑦一部の部活動廃止	13	0	0	11	1	0	0	1
⑧全部活動の廃止	4	0	0	4	0	0	0	0
⑨その他	6	0	0	3	0	1	1	1

⑨その他の意見

中学校： 拠点校方式による指導体制への移行/任意加入制の導入/令和9年夏までは、部活動を継続するが、それで打ち切りとする

中等教育学校： 平日の活動時間削減

特別支援学校： 大学の他の部活で協力できる団体を模索

義務教育学校： 検討中

2-4. 学校としての将来的な部活動の位置付け

	全体 (187)	幼稚園 (39)	小学校 (48)	中学校 (53)	高等学校 (5)	中等教育 学校(7)	特別支援 学校(28)	義務教育 学校(7)
①学校とは切り離れた活動にする	32	1	7	17	1	3	3	0
②場所は提供するが活動には関わらない	17	0	3	10	1	1	0	2
③教員の希望があれば学校での活動を認め、練習時間や大会参加は教員の裁量に委ねる	15	1	3	11	0	0	0	0
④現在の形から、教員の勤務時間を考慮し活動時間を短縮した上で継続	20	0	3	10	3	2	1	1
⑤現状のままでよい	5	0	1	1	0	0	3	0
⑥その他	5	0	0	2	0	1	1	1

⑥その他の意見

中学校： 兼業を認めた上での地域移行/学校としては検討中

中等教育学校： 部活動なし

特別支援学校： 生涯学習として地域へ移行/学校利用や地域利用などのバリエーション

義務教育学校： 検討中

【分析】

- ・部活動改革に取り組んでいるのは中学校が多い。
- ・既に行っている改革内容は、外部指導員の任用、部活動指導員の任用、休日の活動時間削減（活動中止含む）が多いが、運営を業者に委託したり、生徒主体のサークル活動に移行予定やPTA主体で運営したりする学校もある。

- ・今後取り入れたいと思っていることは、他にスポーツクラブとの連携、学生ボランティアの活用、中体連等の大会参加取りやめ、部活動廃止（一部、全部）があがった。また、拠点校方式による指導体制についても検討する学校がある。
- ・部活動の位置付けを学校としてどのように考えているのかについて、「学校とは切り離れた活動にする」「場所は提供するが活動には関わらない」「教員の勤務時間を考慮し活動時間を短縮して継続」「教員の希望があれば学校での活動を認めて練習時間や大会参加は教員裁量にする」が現状では多い回答となっている。兼業を認めて地域移行生涯学習として地域移行等の検討もある。
- ・部活動改革は、学校と大学、地域の関わり方で学校ごとの特色も伺える。